

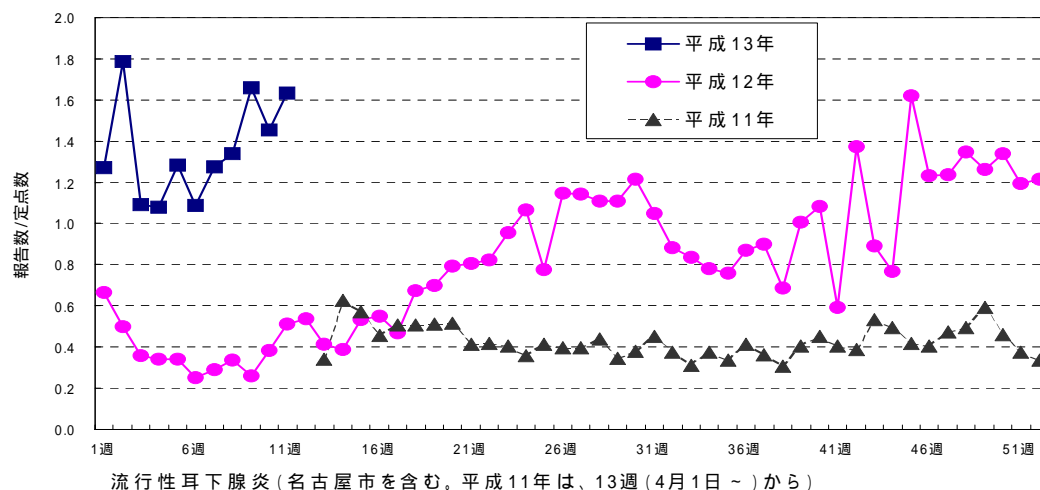
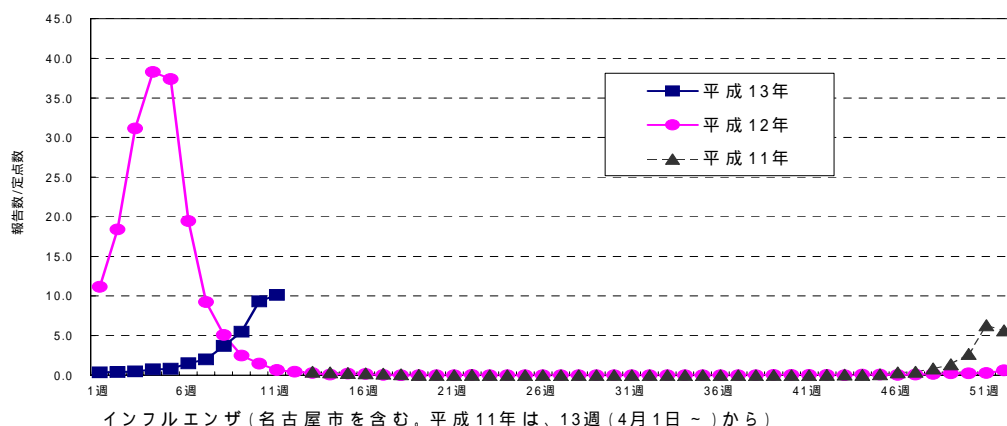
愛知県感染症情報

平成 13 年第 11 週 (3 月第 2 週)

(コメント)

インフルエンザ、流行性耳下腺炎は依然流行中なので注意してください。感染性胃腸炎も報告数が多い状況が続いています。

咽頭結膜熱は、尾東地区からの報告数が多いです。



(先生方からのコメント)

● 尾張西部地区

- ・ 1 ～ 2 歳の児に感染性胃腸炎多く低血糖例あり (BS 27mg / dl , 44mg / dl)

9 歳ムンプス ワクチン歴あり

9 歳水痘 ワクチン歴あり

(一宮市 あさのこどもクリニック)

- ・ 再び感染性胃腸炎流行
(一宮市 後藤小児科)
- ・ 病原性大腸菌陽性者(0-1 は6歳女、7歳女、10歳男、0-15 は11ヶ月女、0-25 は18歳女)
糞便アデノウイルス陽性者 4歳男
インフルエンザA(1歳男、2歳男、7歳男2名、5歳女、6歳女、8歳女2名、10歳女、15歳女、30歳代女3名、50歳代女)
(尾西市 城後小児科)
- ・ 嘔吐を伴うインフルA、シンメトレル*に反応多し。ムンプスも流行。麻疹1例あり。
(岩倉市 なかよしこどもクリニック)
注)シンメトレル*:A型インフルエンザ治療薬
- ・ インフルエンザ小流行あります(シンメトレル有効例多いです)。感染性胃腸炎も流行しています。伝染性紅斑5例ありました。
(江南市 みやぐちこどもクリニック)
- 尾張東部地区
 - ・ インフルエンザはFluA^{*1}(+)20名。FluA(-)でA型と考えられる兄弟例3名。A型にかかったあと、OIA^{*2}(+)で、B型インフルエンザ1例でした。
マイコプラズマ肺炎 8歳男
(瀬戸市 津田こどもクリニック)
注)FluA^{*1}:A型インフルエンザウイルスを検出する迅速診断キットの一種。
OIA^{*2}:A・B型インフルエンザウイルスを同時に検出する迅速診断キットの一種。ただしA・B型の区別はできない。
 - ・ インフルエンザ小流行継続(幼児の罹患者が少し目立ってきました。)溶連菌感染症も流行が続いています。
マイコプラズマによる肺炎、気管支炎目立ちます。突発疹散発。
(尾張旭市 佐伯小児科医院)
 - ・ MCLS(川崎病) 7ヵ月
ロタウイルス(+)の乳幼児の下痢多い。
年長児の嘔吐下痢症も多い。
(美浜町 愛知県厚生農業協同組合連合会知多厚生病院)
 - ・ ロタ胃腸炎多いです。非定型肺炎4例ありました。インフルエンザ散発。
(春日井市 朝宮こどもクリニック)
 - ・ 今週はインフルエンザが多くみられました。インフルエンザA抗原(+)でした。咽頭結膜熱も少しみられました。
(春日井市 かちがわ北病院)

- ・ インフルエンザ多し（AもBも）
（小牧市 小牧市民病院）
- ・ 生後2ヶ月のインフルエンザ1例、5歳男子のインフルエンザ筋炎1例みられました。
（小牧市 志水こどもクリニック）
- ・ 水痘が増えています。インフルエンザが出てきました。
（小牧市 鈴木小児科）
- ・ 流行性耳下腺炎罹患 3歳女ワクチン接種済み
（東海市 小児科ハヤカワ医院）
- ・ 咳の持続する感冒が流行っています。
（東海市 東海市民病院）
- 西三河地区
 - ・ インフルエンザA型 FluA 陽性（1歳男、2歳女3名、3歳女4歳女2名、4歳男2名、5歳女2名、5歳男、6歳男）
ロタウイルス抗原陽性 9ヶ月女
EBウイルス感染症 9歳女
病原性大腸菌（O-148 1歳女、O-155 1歳女）
（豊田市 星ヶ丘たなかこどもクリニック）
 - ・ カンピロバクター腸炎 7歳女
（豊田市 保見診療所）
 - ・ インフルエンザA（10歳女2名、9歳男、3歳男、2歳男）
（豊田市 やふそ小児科）
 - ・ カンピロバクター 9歳男。FluA（+）4歳女。インフルエンザ予防接種済み 3歳女。病原性大腸菌 O-1（+）1歳女。マイコプラズマ肺炎 7歳男
（岡崎市 にいのみ小児科）
 - ・ インフルエンザA 7名（7歳男、15歳女・兄妹感染、38歳男、34歳女、10歳男、5歳女・家族内感染）。インフルエンザ4名（5歳女 6歳男2名、30歳男）。
（岡崎市 永坂内科医院）
 - ・ A型9例（FluA（+）7名続発例2名）B型4例（OIA（+）FluA（ ）2名、OIA入手不能となり推定例2名）
（岡崎市 栗屋医院）
 - ・ 2峰性発熱のインフルエンザ様の経過の患児多い。
（岡崎市 志貴こどもクリニック）
 - ・ マイコプラズマ感染症 5歳女。ロタウイルス（+）1歳女
（岡崎市 花田こどもクリニック）
 - ・ ロタウイルス（3歳、2歳、1歳男、2歳女）

5 歳、9 歳麻疹は 2 週間前の児の兄妹でワクチン未接種。

(岡崎市 深田小児科)

- ・ Flua 陽性 3 名。(うち 1 名はワクチン接種)

嘔吐下痢が続いています。

(西尾市 やすい小児科)

- ・ 水痘は減少傾向だが、感染性胃腸炎は横ばい。

インフルエンザも今のところ流行のきざしはなし。

(西尾市 山岸クリニック)

- ・ 感染性胃腸炎、水痘が相変わらず流行しています。

(三好町 三好町立三好病院)

- 東三河地区

- ・ 幼稚園でインフルエンザ B 型と思われる流行があります。

(豊橋市 こどもの国大谷小児科)

(1~3 類感染症の発生状況)

コレラ患者 1 名。

瀬戸保健所から報告の 26 歳男。3/10 発病、3/13 初診、3/16 診定。

菌型は、エルトール小川型。インドネシアへ渡航歴あり。

赤痢患者 1 名。

岡崎保健所から報告の 27 歳女。3/11 発病、3/13 初診、3/15 診定。菌

型は、フレキシネル 2 b。ベトナム渡航歴あり。

(全数把握の 4 類感染症の発生状況)

クロイツフェルト・ヤコブ病患者 1 名。

第 9 週(平成 13 年 2 月 26 日~3 月 4 日)の 4 類感染症の全国状況

感染性胃腸炎の定点当たり報告数が例年にくらべやや多くなっており、鳥取県、広島県、宮崎県で定点当たり報告数 20、山形県、宮城県で 18 となっている。インフルエンザは全国平均の定点当たり報告数が 6.9 と、先週より増加している。流行性耳下腺炎、水痘は過去 5 年の同時期と比較してかなり定点当たり報告数が多くなっている。流行性耳下腺炎は福井県で定点当たり報告数 10、熊本県で 4.0、福岡県は 3.3 と多くなっている。水痘は宮崎県で定点当たり報告数 6.8、沖縄県で 6.5 と報告が多くなっている。麻疹も例年の同時期とくらべ定点当たり報告数がかなり多く、大分県で 3.6、高知県で 3.2 となっている。咽頭結膜熱、手足口病は冬季としては例年になく定点当たり報告数が多くなっている

(Infectious Diseases Weekly Report より抜粋)

厚生労働省感染症研究所感染症情報センター感染症情報室提供)